

子どもまんなか社会をめざして

～「子ども会議」を通して見えてきたこと～

千曲市社会福祉協議会では、令和6年3月に定められた「千曲市子どもまんなか宣言」を受けて、「子どもの権利の尊重」、「子どもや若者の意見を表明する場の確保」、「子どもの居場所づくり」など、子どもまんなか社会の実現を支援しています。その一環として、児童館・児童センターを会場に、「子ども会議」を開催しています。

令和6年度は下記のように、3会場で3回の「子ども会議」を開催することができました。

- | | |
|------------------------------|---------------|
| 第1回子ども会議 埴生児童センター(令和6年3月22日) | |
| 第2回子ども会議 稲荷山児童センター(同8月5日) | |
| 第3回子ども会議 屋代児童センター(令和7年3月26日) | 次回開催は 五加児童館予定 |

今回のテーマは「わたしたちにとってよりよい放課後とは？」でした。

会議には、小学校3年生から高校生までの子どもたちが参加し、活発な意見交流ができました。会議の中で比較的多かった声を拾ってみました。

わたしにとって放課後児童クラブは必要！？ ※○は学年

- ・いろいろな子と交流ができる○
・いろいろな体験ができる○
・家では不安がある③
- ・家にいるとダラダラしてしまう○
・家では何をすればいいかわからない③④
- ・児童クラブはおやつがある③④
・児童クラブでは同じ子としか遊べない○
- ・自分の好きなものがつけれない④⑤⑥
・言われたことをするのでなく自由に過ごしたい④⑤⑥

学年が上がるにつれ、意見
が変わってきています。

大人に言いたいことは…

意外と多いのが
「話をきいて」の声

- ・大人にはもっと話を聞いてほしい・その日にやることや時間を自分で決めたい
- ・大人はそのときの気分で態度を変えるのはやめてほしい
- ・親に信頼されるようになったことがうれしい
・児童センターが狭すぎる
- ・クラブを卒業し、家では親に断らずにやりたいことができるようになった。

また、こういう機会があったら…

- ・言いたいことを話せて心が軽くなった
・こういう会議があったらまた参加したい
- ・みんなが思っていることを知ることができて良かった
・自分と違う気持ちが分かった
- ・大人には子どもたちのそれぞれの願いを少しでもいいから受け入れてほしい



「児童クラブに通ったことで、放課後に一人でも不安なく過ごせることができました」

「親に信頼されるようになったことが嬉しいです」…会議に参加した6年生の感想です。

子どもたちは、私たちが思っている以上に、大人の思いをしっかり受け止めて、逞しく成長しています。会議を通して、「ぼくは、親(先生)から信頼されているんだ」と、子ども自ら実感したとき、子どもたちは、自らを律し、独り立ちしていくことを教えられました。子どもたちの純粋な声は、よりよい社会をつくっていくための、大きなエネルギーを秘めています。「私は、子どもたちの声をじっくり聴くことができる大人であるか」、私たち自身が問われているような気がしました。

(児童館統括 武井)